



photo01

今回のテーマは3階の子供部屋と主寝室。2階の階段を登ると、正面が子供部屋、その奥に主寝室があります。扉は一枚もないので、吹抜けを通して2階のLDKとつながった一室空間になっています。(photo01)

子供部屋は東西方向に長く、左右対称です。現在はこのようにオープンな部屋ですが、将来は子供の成長に合わせて真ん中に間仕切りを造り、分割できるように考えています。(photo02)

壁の端から巾1mと50cm、高さ2mのPAXを並べ、残りの部分(約1m)を勉強机にしています。勉強机は残りの長さに合わせて集成材をカットし、高さが上下できるように伸縮式の脚VIKA KAJを取り付けました。上部はLACK。これも残りの長さに合わせてカットしています。椅子はJULES。布団カバーはBRUNKRISLA。おもちゃ箱はTROFAST。



photo02

東西方向からも光を取り入れるため、PAXの上に横長の窓も付けました。このように設計段階から考えることで、壁一面を余す所なく使った造付け家具のように見せることができます。

北側にある窓はIKEAのブラインドLINDMON(巾1m40cm高さ1m55cm)を使うために、その寸法に合わせて大きさを決めました。なので見ての通り、きれいに納まっています。(photo03)

子供部屋から南側の吹抜けを見ると、右側は主寝室への入口、左側はクローゼットの収納量を補うと共に、視覚的な簡易間仕切りとなるようにこちらにもPAXを置いています。天井2m40cmに高さ2m36cmなので、寝かせて組み立てたものを後から立てることができません。立てながら組み立てるしかないのですが、大人が3人以上いないとかなり難しいのですが、私の場合は何とか大人二人で組み立てました。(身長1m86cmの義弟のおかげです。)(photo04)



photo03

主寝室は寝るだけのスペースなのでとてもシンプルに設計しました。ヘッドボードはダイニングテーブルや勉強机と同じ集成材。中に手元灯となる照明を埋め込んでいます。奥のサイドテーブルはLACK。(photo05)

この部屋にある“スグレもの”を紹介します。室内用物干ワイヤーです。似たものはよくホテルのお風呂等で見かけますが、これはデザイン的にも金物っぽくなくて、非常に使いやすいので重宝しています。(photo06)



photo05



photo06



photo04